

ホルター心電図とは

検査内容

- 記録器を24時間装着し不整脈や心電図の形の変化などを検出する検査
- **12誘導心電図等の短時間記録では捉えられない心電図異常を記録できる**
- 解析装置は高額なため、記録器のみ購入し解析は外部委託するスタイルが定着している

最大のメリット

※保険点数について

8時間以上の記録：1750点

8時間未満の記録：30分またはその端数を増すごとに90点

臨床的意義

- 胸痛、動悸、息切れ、めまいなどの自覚症状があるとき
- 不整脈の発生頻度、重症度評価
- 狭心症等によるST変化の有無
- 抗不整脈薬、狭心症薬の薬効評価
- アブレーション等の治療後の経過観察
- ペースメーカー機能評価

検査手順

機器取り付け～取り外し

1. 電極装着部の角質・皮脂を皮膚処理クリーム、紙やすり、アルコール綿等で除去する。
2. マニュアルに沿って電極を貼り付ける。
3. 記録機の電源を入れ、画面に波形が出ていることを確認する。
4. 電極をテープで固定し、記録をスタートさせる。
5. 24時間記録後、取り外す。

✓ 行動記録カードに症状の記入があった場合は、正確な日時の確認をお願いいたします。

検査の注意点

ノイズ混入や**電極外れ**によって解析が困難となるため、以下の行為はお控えください。

ノイズ混入等が多い場合、通常よりも解析に日数がかかる可能性もございます。

ご協力をお願いいたします。

• **電気毛布・ホットカーペット等接触する電気器具(低周波治療器)の使用**

電極に接するとノイズが混入するため、解析ができなくなります。

• **激しい運動**

マラソン等の**大量の汗をかく運動**、サッカー等の**接触が多いスポーツ**はノイズ混入と電極外れの原因となります。

• **斜め掛けバッグの使用、電極を触る等**

斜め掛けバッグのベルトが電極装着部を擦ることでノイズが混入する恐れがあります。